



えんどうまめ通信

H24・9月 vol.2

練馬区立中村小学校 心のふれあい相談員だより

遠藤 絵里

「愛してるよ！…えっ、そうだったの？」

長く厳しい残暑もようやく終わり…風の涼しい夜も多くなりました。
皆様、いかがお過ごしでしたか？

今日はいきなりですが、ひとつ質問をさせていただきたいと思います。

*ご自分が「愛されているな～」と感じるのは、主にどんなことを通してですか？
下の5つの中から考えてみてください。

- 1、言葉を通して(「大好きだよ」「愛してるよ」など。手紙でも、会話でもOKです)
- 2、ハグを通して(ご主人やお子さんがハグしてくれたとき…などなど)
- 3、物を通して(プレゼントや、大切な物をもらったときなど)
- 4、手伝いを通して(疲れたとき、お皿を洗ってくれる、困っているとき助けてくれるなど)
- 5、そばにいてくれることを通して(ただ、なんとなくそばにいてくれること)

いかがでしょうか？ ご自分の答えを考え終わったら、次にご家族はどうかな～と想像してみてください。そして、ぜひ今晚ご家族お一人お一人に聞いてみてくださいね。

これは心理ゲームでも何でもなく、このままの事実です。1を選んだ人は「母の日のカード」などをもらったらとっても嬉しいでしょう。3の人は、誰かからもらった物を、ずっと大切にしているに違いありません。5の人は寂しいとき、誰かが来てくれるだけで感激するでしょう。「愛」は人を通して表わされるものですが、感じ方は人によって少しずつ違うものなのですね。

実は私は、家族はきっとこれだろうと思ったことと、実際に聞いた答えが全然違っていたので、ちょっとビックリしました。…ということは、私が「愛」をもってやっていたことは、それほど娘や息子たちには響いていなくて、彼らは別のことを望んでいたのかな～と気づかされ、ハッとしたのです。

私たちが「子どものため」と思ってやっていること、その気持ちは決して嘘ではないでしょう。でもそれがすれ違っていたり、受け止め方が違っていたら、本当にもったいないですよ！子どもは、おいしいおやつではなくて、ただゆっくりそばにいて話を聞いてほしいかもしれません。素敵な服ではなくて、帰ってきたらハグしてほしいだけかもしれません。

せっかくだったら「こんなに愛してるんだよ」というメッセージがスーッと相手の心に届いてほしいなと思います。ぜひ、上の質問をご家族で話し合ってみてください。そして、お互いの愛を、どのくらい伝え合うことができているのか考えてみてくださいね。ご家族で「なんだ、そうだったのー？」ということを発見することができたら嬉しいな～と思います。

相談室直通電話 080-2010-1957 月・水(9時～2時)・木(9時～3時) (火曜日は皆川先生です)

子育ての愚痴や、ちょっと聞いてほしいんだけど……ということも、どうぞお気軽にご連絡ください。